

(2) 循環器疾患

【基本的な考え方】

脳血管疾患（注1）と虚血性心疾患（注2）などの循環器疾患は死亡の原因になるだけでなく、要介護状態を引き起こすなど社会的にも大きな影響があります。危険因子としては、高血圧、脂質異常、喫煙、糖尿病の4つが主であり、メタボリックシンドローム（注3）は特定保健指導の入り口となる指標となっています。

循環器疾患と関連する生活習慣としては、栄養、運動、喫煙、飲酒があり、市民一人ひとりの生活習慣改善への取り組みや健康診査等による健康の確認が重要です。

また、治療開始の必要性が高い状態に移行したり、治療中断などは重症化につながるため、早期の保健指導、治療継続支援などが必要です。

（注1）脳血管疾患

脳動脈に異常が起こることが原因で起こる病気。脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に代表される脳の病気の総称です。

（注2）虚血性心疾患

心臓を取り巻く冠動脈の血液が流れにくくなる、あるいは流れなくなることで起こる病気で、狭心症や心筋梗塞などがその代表です。

（注3）メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満に脂質異常や高血圧、高血糖が2つ以上合併した状態。合併した一つひとつの症状が軽度でも、動脈硬化を相乗的かつ急速に進行させ、心筋梗塞等の深刻な病気を引き起こす確率が高くなります。

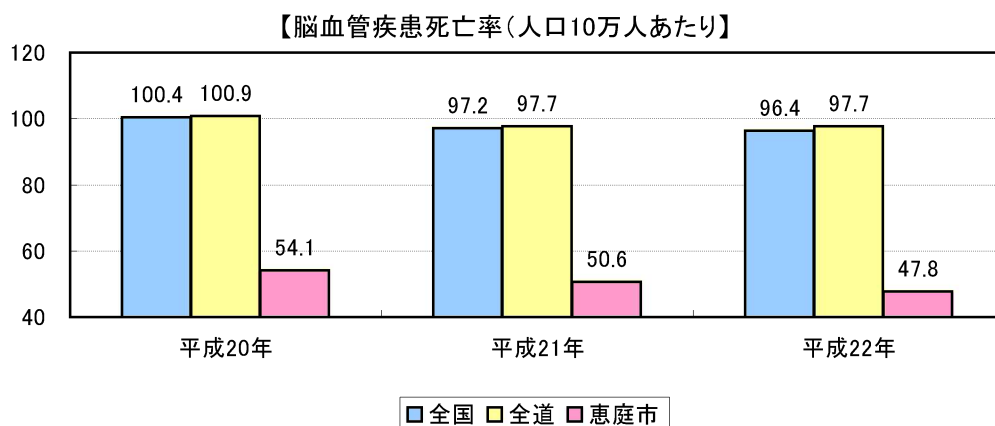
【現状と目標】

《脳血管疾患・虚血性心疾患の状況》

①脳血管疾患

ア 死亡の状況

高齢化に伴い、脳血管疾患による死亡者の増加が予測されますが、全国、全道と比較して市の脳血管疾患の死亡率は低くなっています。



※ 人口動態統計

目標 脳血管疾患の死亡率のさらなる減少

イ 要介護認定の状況(第2号被保険者)

平成23年度の介護保険の第2号被保険者の要介護認定申請理由のうち、脳血管疾患が60.7%と半数以上を占めています。

第2号被保険者は、社会的責任や経済的負担が大きい働きざかりの年代であり、脳血管疾患の発症に関連する高血圧や脂質異常の管理が重要となります。

【第2号被保険者の要介護認定申請理由】

	計	脳血管疾患	脊髄小脳変性症	関節リウマチ	がん(末期)	初老期における認知症	糖尿病性神経障害・腎症・網膜症	後縦靭帯骨化症	パーキンソン病関連疾患	その他
人数	71	43	3	3	3	5	2	2	4	6
割合	100.0%	60.7%	4.2%	4.2%	4.2%	7.0%	2.8%	2.8%	5.6%	8.5%

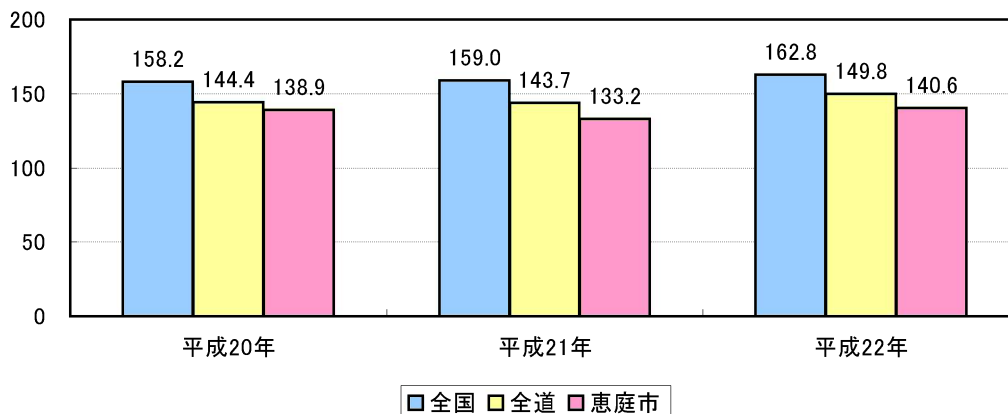
※ 平成23年度恵庭市保健福祉部介護福祉課

②虚血性心疾患

ア 死亡の状況

虚血性心疾患についても、高齢化により、脳血管疾患と同様に死亡者の増加が予測されますが、市は全国、全道と比較して虚血性心疾患の死亡率は低くなっています。

【虚血性心疾患死亡率(人口10万人あたり)】



※ 人口動態統計

目標 虚血性心疾患の死亡率のさらなる減少

《メタボリックシンドローム等の状況》

①メタボリックシンドロームの状況

平成22年度の特定健康診査の結果から、受診者の16.0%がメタボリックシンドローム該当者（注4）、11.1%が予備群（注5）となっており、該当者は増加傾向にあります。

メタボリックシンドローム該当者のリスクの重なりについては、男性、女性とも「血糖と脂質」が最も多く、次いで男性が「血糖・血圧・脂質」、女性が「血糖と血圧」「血圧と脂質」となっており、「血糖・血圧・脂質」の3つのリスクの重なりが虚血性心疾患の発症予防の重要項目となっています。

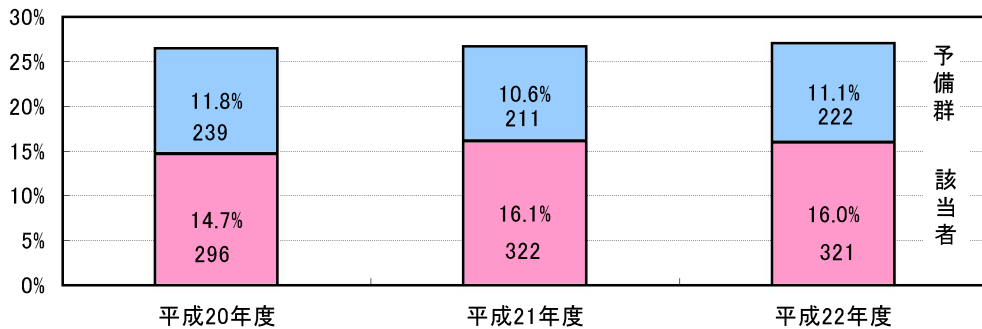
（注4）メタボリックシンドローム該当者

内臓脂肪型肥満に脂質異常や高血圧、高血糖が2つ以上合併した状態。

（注5）メタボリックシンドローム予備群

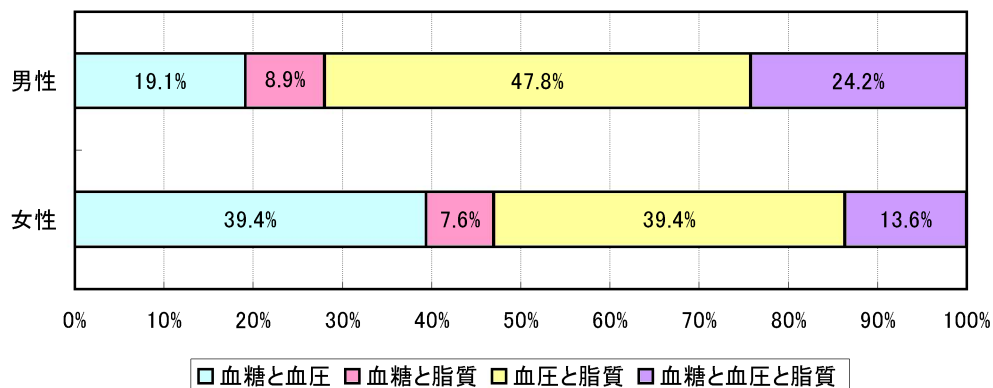
内臓脂肪型肥満に脂質異常や高血圧、高血糖が1つ合併した状態。

【メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合と人数】



※特定健康診査・特定保健指導実施状況概況(法定報告)

【メタボリックシンドローム該当者のリスク】



※平成23年度恵庭市特定健康診査

目標

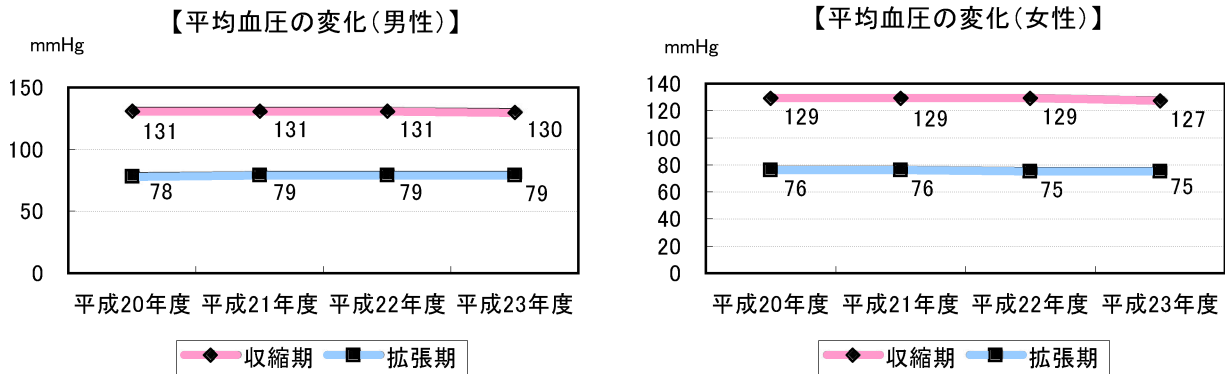
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少

②血圧の状況

高血圧は、脳血管疾患や虚血性心疾患などあらゆる循環器疾患の危険因子であり、その発症や死亡については、他の危険因子と比べるとその影響は大きいといわれています。

市の特定健康診査の結果より、平均血圧を経年で見ると、男性、女性ともに正常値内の血圧となっています。

しかしながら、高血圧治療者においては治療中断などは重症化につながることから早期の保健指導、治療継続支援などが必要です。また、治療開始の必要性が高い人には生活習慣改善とあわせた保健指導を実施していきます。



※ 恵庭市特定健康診査

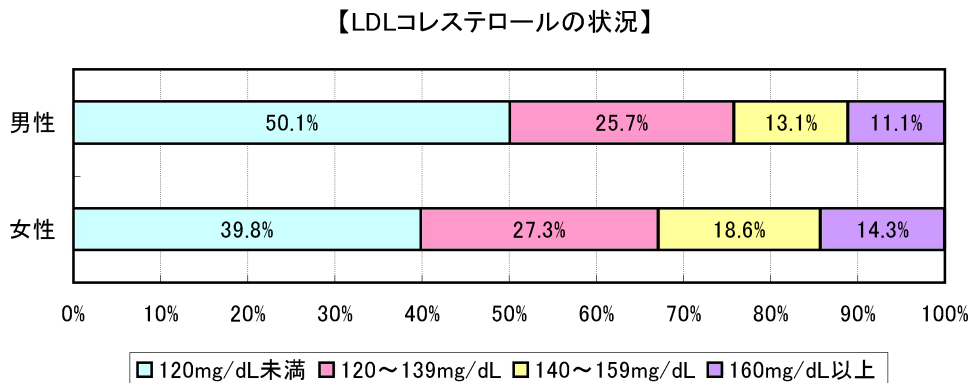
目標 高血圧の改善

③脂質の状況

脂質異常症は動脈硬化を招き、虚血性心疾患の危険因子となります。特に、LDLコレステロールの高値は、動脈硬化予防として各検査項目の中で最も重要な指標とされています。

市の平成23年度特定健康診査結果では、LDLコレステロール160mg/dL以上の脂質異常症の割合が男性では11.1%、女性では14.3%となっています。

市では、動脈硬化の危険性が高い人への保健指導を継続して実施していきます。



※ 平成23年度恵庭市特定健康診査

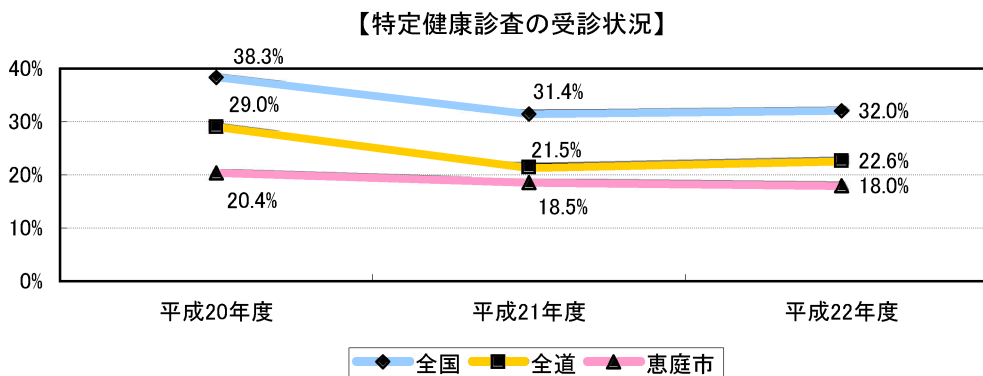
目標 脂質異常症の減少

《健診・保健指導》

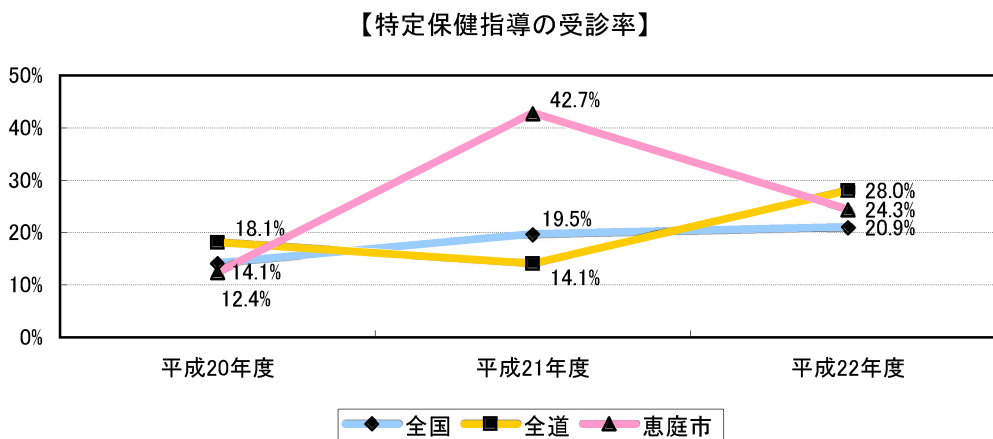
特定健康診査受診率は生活習慣病対策に対する取組み指標となりますが、平成22年度の受診率は、18.0%と全国、全道より低くなっています。

また、特定保健指導の実施率は、年度によりばらつきがありますが、平成22年度の受診率は24.3%と受診率は全国より高く、全道より低くなっています。

特定健康診査・健康診査の受診率向上に向けて、がん検診とあわせて受診できるなど効率的・効果的な受診体制を整えます。



※特定健康診査・特定保健指導実施状況概況(法定報告)



※特定健康診査・特定保健指導実施状況概況(法定報告)

目標 特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上

【 対 策 】

	次世代	働きざかり	高齢者
個人・家族・地域の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●妊婦健診、乳幼児健診をしっかりと受けよう。 ●親子（母子）手帳を活用し、健診結果から生活習慣を振り返ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●健診結果から生活習慣を振り返ろう。 ●必要な治療は中断せずに病気と上手に付き合おう。 	

市の取組み	①循環器疾患予防の推進		
	事業名	概 要	担当
	保健指導	特定保健指導対象者（肥満を伴い、血圧・血糖・脂質検査値に異常のみられる人）に、生活習慣の改善指導を行います。また、発症予防（肥満を伴わず、血圧・血糖・脂質検査値に異常のみられる人）への支援も行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導（積極的支援・動機付け支援） ・発症予防保健指導 ・結果説明会 	保健課 国民健康保険課 医療給付課
	健康相談	よりよい生活習慣や健診データの疑問や不安など広く健康づくりに関する相談を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康・育児ほっとダイヤル ・健康づくり相談日 ・高齢者はつらつ相談日 	保健課
	訪問指導	治療必要者および治療中断者（重症化予防対象者）などの家庭に訪問をし、生活実態に合った指導を行います。また、妊娠中から血圧が高い産婦に赤ちゃん訪問の機会に保健指導を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問指導 ・赤ちゃん訪問 	保健課
	②循環器疾患予防に関する知識の普及・啓発の推進		
	事業名	概 要	担当
	健康教育講演会	生活習慣の見直しと健診受診の動機付けとなるよう、広く一般市民を対象とした生活習慣病予防のための健康学習会や講演会を開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ・医師による生活習慣病予防講演会 ・町内会や企業への出前講座 ・老人クラブへの健康教育 ・妊婦教室での母体の健康管理講話 ・結果説明会 	保健課
	学校教育	自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。	教育委員会
	③特定健康診査等の推進		
事業名	概 要	担当	
特定健康診査等	特定健康診査・健康診査とがん検診の一括実施や休日健（検）診など実施など利用しやすい体制の充実を図ります。対象者への個別案内や健（検）診受診券の発行、広報誌などを利用した啓発活動に加え、未受診者への受診勧奨通知など受診率の向上に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査、健康診査、脳ドック 	保健課 国民健康保険課 医療給付課	
妊婦健康診査	親子（母子）健康手帳発行時に、妊婦一般健康診査受診券を発行し週数に応じた健診受診を促します。	保健課	

	項目	現状	平成29年度	参考(国＝目標値)	出典
評価指標	脳血管疾患の死亡率のさらなる減少(人口10万人あたり)	47.8 (男女別なし) (平成22年)	減少傾向	年齢調整死亡率 男性 41.6 女性 24.7 (平成34年度)	人口動態統計
	虚血性心疾患の死亡率のさらなる減少(人口10万人あたり)	140.6 (男女別なし) (平成22年)	減少傾向	年齢調整死亡率 男性 31.8 女性 13.7 (平成34年度)	人口動態統計
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	543人 (平成22年度)	減少傾向	平成20年と比べて 25%減少	特定健康診査・ 特定保健指導 実施状況概況
	高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)	男性130mmHg 女性127mmHg (平成23年度)	現状維持	男性134mmHg 女性129mmHg (平成34年度)	恵庭市特定健康診査
	脂質異常症の減少(LDLコレステロール160mg/dL以上)	男性11.1% 女性14.3% (平成23年度)	減少傾向	男性 6.2% 女性 8.8% (平成34年度)	恵庭市特定健康診査
	特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上	健診 18.0% 指導 24.3% (平成22年度)	増加傾向	平成25年度から開始の第2期医療費適正化計画にあわせて設定	特定健康診査・ 特定保健指導 実施状況概況

